

【山中湖観光協会「体験プログラム」における、「新型コロナウイルス感染拡大防止」のガイドライン】

〔トレッキング・ハイキング・ウォーキング編〕

■実施にあたって■

1. 参加者の集合は、原則として「山中湖観光案内所」とする。
2. 当面の間、参加者は、ガイドひとりに付き、3人までとする。
3. 出発前に、感染拡大防止についての説明と検査を行う。

■ガイディングについて■

1. 出勤時に、検温と健康チェックを第三者と行う。
2. 参加者への説明には、飛沫飛散防止のため、マスクまたはフェイスシールドを使う。
大声でのガイディングは行わない。(一社)
3. ガイド中は、自らの体調維持と、参加者の状況に細かく気を遣う。(熱中症の防止など)
4. スプレー式携帯消毒液を持参する。トイレ、食事の後、何かに触れた時は使用。
5. 参加者以外の人とは、極力接触を避ける。
6. 体温計を持参。
7. 緊急時の応急処置の時の直接接触に関しては十分注意のこと。

■参加者について■

1. 集合時に検温を行い、平熱以上の場合は、帯同者も含めて中止とする。ただし、他の参加者が他人(帯同社、同行者以外)の場合はこの限りではない。
2. 説明時にはマスクを着用。
3. 簡単な健康チェックに記入してもらおう。(検温、昨晚の体調、睡眠、味覚臭覚の有無など)
4. ガイド中は、熱中症の予防から、マスクを外すことを許可するが、1.5mの距離を置くように指示する。咳エチケットを指導する。
5. 大声での会話はしない。
6. トイレ、食事、何かに触れた後は、ガイドが携帯する消毒液で消毒する。
7. むやみにやたらに触れないように指導。
8. (不要な)第三者への接触を出来るだけ避ける。
9. 終了後(帰宅後)、体調に異常があった場合の連絡を義務付ける。

以上

(一社) 山中湖観光協会 旅行業管理責任者 横山知己